

平成 29 年度事業報告

平成 29 年度は、病床の有効且つ効率的な稼働により、経営の安定化を図り、投資においては過年度より継続案件とされていた、土地購入、エレベーター設備更新、空調システム更新を永続的に運営するための最重要事項として取り組みを行いました。

土地購入では、売主との交渉をはじめ資金調達、支払い、移転登記に至るまで円滑に手続きを完了することができました。また設備関係においてもエレベーター更新を 2 月に、南館ガス空調システムについては健診センター内、レストラン内を 30 年 4 月までに完了としており、何れも患者様や来院者からの苦情もなく終了することができました。

29 年度決算は 4,500 万の黒字決算となりました。内容としましては経常収益が 31 億 5,400 万となり前年比では 1 億 6,600 万の増加、費用は 31 億 900 万と 5,400 万の増加計上となりました。

収益においては入院患者数の増加により保険診療収益が 1 億 3000 万という大幅な増収となりました。

経費については経費全体として 5,400 万の増加となりました。内訳として人件費にて 3,700 万の増加、これは社会保険料の料率変更に伴う健康保険料、厚生年金保険料の事業所負担が増加となっており、それに伴う法定福利費用の増加と退職給付費用の増加分を含めた内容となりました。一般経費では水道光熱費にて電気料、重油等の単価の高騰による 800 万の増加、修繕費にて病室整備の実施による 600 万の増加、租税公課についても土地購入に関する登録免許税の影響も含め 400 万の増加となり経費増の要因となりました。

今期については、各病棟において 1 年を通し効率的にベッドコントロールをできたことによる患者数増加となりました。29 年度の 1 日当たり平均入院患者数は 172.2 人となり前年度比 8.7 人の増加となり、内訳では一般病棟が 129.7 人と前年比 3.0 人の増加、療養病棟が 42.4 人となり、5.6 人の増加となりました。

平成 30 年度は、更なる稼働病床の有効利用に力を注ぎ、29 年度に引き続き患者受入を強化し、在院日数の短期化を図り収益増の体制整備に努め地域医療に貢献したいと考えております。併せて、近隣機関との連携を図り地域の医療ニーズに応え、且つ永続的に安定した経営が図れるよう取り組んで参ります。

■ 設備・機器導入

ー土地・建物設備ー

- 土地購入（第3駐車場） : 12月完了
- 本館エレベーター改修工事 : 3月完了
- 電話システム : 未完了

ー医療機器等ー

- 心電図ゲ-タ-パ- : 平成30年4月完了
- 眼圧計 : 10月完了
- 業務用マルチ周波数体組成計 : 未完了
- 超音波診断装置（腹部） : 3月完了
- デジタル乳房撮影装置 : 3月完了
- レントゲン車X線装置入替 : 3月完了
- 心電計 : 平成30年4月完了
- 患者用電動ベッド : 未完了

ーソフトー

- 栄養管理システム : 9月完了

■ 人 事

ー入職者、復職者ー

看護師ー9名（内2名国際交流協会）
准看護師ー1名
看護助手ー1名
看護学生ー2名
クラークー1名
薬剤士ー1名
検査技師ー3名
作業療法士ー3名
事務ー2名（医事、健診）

産休復帰予定者4名（看護師（准）ー3名、他ー1名）

ー年度内退職者、休職者ー

定 年 : 病院ー5名、訪問看護ー0名
中途退職 : 病院ー31名、訪問看護ー3名

年度内産休取得予定者10名（看護師（准）ー6名、他ー4名）